

Excelによる

MTシステム習得セミナー

ビッグデータ解析手段として注目される多次元情報処理技術

本セミナーでは、MTシステムの仕事の進め方をExcelを使った演習問題を通じて体得出来ます。この機会に業種を問わず、多くの技術者の参加をお勧めします。

総合的に判断する

『多次元情報処理システム』を構築できる方法

これからの技術開発は未来の予測、事故の防止、犯罪の防止など、パターン認識の重要性が高まっています。タグチメソッド（品質工学）の創始者である田口玄一博士によって考案されたMTシステムはパターン認識の新しい考え方として取り込んでいる企業も多いです。

パターン認識の例

- ・ 自社製品の故障予知
- ・ 現在の状態の判断
- ・ 検査の自動化
- ・ 溶接強度予測
- ・ 工程診断
- ・ 設備診断 などなど

講師：中野 恵司

有限会社アイテックインターナショナル 副社長

富士通テン(株)出身、オーディオ設計、品質保証業務に従事後、技術コンサルタントに転職。多くの企業で成果を出し続けているエキスパート。



対象者

開発・生産技術・検査・品質保証部門などの方

2015年11月26日(木)27日(金)
2日間とも10:00~16:00

会場

WA東桜会議室 第三会議室
* 地下鉄桜通線「久屋大通駅」徒歩3分

参加費用

54,000円(税込)
早割価格⇒48,600円(税込) 10/31までの申込み

持参物

筆記用具、パソコン(Excelをインストールしたもの)
(バージョンは問いません)

内容

1. Mahalanobis Taguchi System(MTシステム)とは
2. MTシステムの考え方と分類
3. Mahalanobis Taguchi 法(MT法)の進め方概要
4. MT法に必要な予備知識
5. マハラノビス(Mahalanobis)の距離とは
6. MT法の実際の進め方
7. 項目選択のやり方<診断>
8. Taguchi Schmidt法(TS法)
9. Taguchi Schmidt法(TS法)の手順
10. 【演習問題】Taguchi Schmidt法(TS法)
11. 両側T法(Taguchi法)
12. 両側T法の手順
13. 【演習問題】両側T法
14. 片側T法
15. 片側T法の手順
16. 【演習問題】片側T法
17. 複数T法
18. 余因子行列とは
19. 複数T法の手順
20. 【演習問題】複数T法

参加申込み表

受付締切: 11月20日
定員: 25名

FAX(052-917-0712)orメール(info@iteq.co.jp)にてお願いします。

- ・ 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
- ・ お申し込み後、ご請求書と会場案内図を郵送にてご送付いたします。
- ・ お支払いは請求書記載の弊社指定口座に銀行振り込みにてお支払いください。
- ・ お申し込み後のキャンセルはできませんので、代理の方のご参加をお願いします。

会社名:

住所: 〒

所属/役職:

氏名:

E-mail:

TEL:

ITEQ

URL <http://www.iteq.co.jp>
E-Mail info@iteq.co.jp
TEL:052-917-0711 FAX:052-917-0712

有限会社アイテックインターナショナル
〒462-0844 愛知県名古屋市中区清水3-8-5
担当: 岡本, 伊藤

Compass to advance in the future